

決議事項要約
国際理事会会議
オンライン会議
米国イリノイ州オークブルック
2020 年 6 月 16 日～25 日

監査委員会

- 外部監査計画 - クロウ社が2020年6月30日を期末日とする年度の国際協会の監査に向けた計画について最新報告を行った。
- 内部監査の概要 - ライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視を行う。

会則及び付則委員会

- 国際理事推薦選挙については321-F地区（インド）から1件の抗議申立てが提出され、地区ガバナー・第一および第二副地区ガバナー選挙については16件の抗議申立てについて審議中。
- 321-B1地区（インド）の第一副地区ガバナー選挙抗議申立てを却下。
- 122地区（チェコ共和国およびスロバキア共和国）の地区ガバナーの言動について確認した。
- 国際理事候補者の推薦証明の提出期限を、国際大会の開会日30日前までから60日前に変更した。

**** 追加の報告書と決議案は、委員会が完成し次第、BoardEffectに掲載されます。**

大会委員会

- カナダ・ケベック州モントリオールにおける 2021 年国際大会の計画を確認した。
- 中止された 2020 年国際大会を、2028 年 6 月 23～27 日シンガポールに持ち越した。
- 選挙委員会の任命者の数を最大 40 人に減員。

地区及びクラブ・サービス委員会

- 2020～2021 年度地区ガバナーを務めるライオンズリーダーを承認。
- 21 地区（米アリゾナ州）に対し、Apache Junction ライオンズクラブおよび Casa Grande ライオンズクラブの再建の期限を 2020 年 12 月 31 日まで延長することを認めた。

- 300-C3 地区（300 複合地区 台湾）から提出された、300-D3 地区と 300-D5 地区を 300 D 複合地区とする地区再編成案を承認し、2023 年国際大会の閉会をもってこれが有効になるものとした。
- 標準版地区付則を改訂し、地区ガバナーおよび副地区ガバナー職の空席を補充するライオンズはクラブの推薦を得なければならないものとした。
- 標準版地区付則を改訂し、キャビネット幹事が会議の議事記録を提出する猶予を 5 日以内から 15 日以内に延ばした。
- 標準版地区会則を改訂し、必要であれば地区ガバナーの任命を受けたライオンズを地区ガバナーが解任できるようにした。

財務及び本部運営委員会

- 赤字となる 2019～2020 年第 4 四半期の収支見通しを承認。
- 赤字となる 2020～2021 年度最終予算を承認。
- 委員会として、予測と最終的な予算の調整の影響も含め、収支、キャッシュフロー、および支出/積立方針計算の5カ年予測を確認した。
- ライオンズクラブ国際協会財務チーフがライオンズクラブ国際協会職員退職年金プランの修正計画を実行するタスクフォースを管理することを承認。
- 理事会方針書第 21 章を改訂し、バーチャル会議の方針を追加。
- 2019 年 10 月の理事会会議で承認された会費に関する決議案について、この会費増額の修正案も交えて話し合い、長期計画委員会に 2020 年 8 月の委員会会議にて 7 ドルの会費増額について検討することを推奨した。

リーダーシップ開発委員会

- 2020～2021 年度の指導力育成補助金と研究会スケジュールを承認した。ただし、会則地域 1 および 2 の講師育成研究会の日程変更は未反映。
- バーチャル研修の検討を希望する複合地区に対して、地方ライオンズ・リーダーシップ研究会（RLLI）はバーチャルで行うオプションを利用可能にすることを確認した。
- 2020 年国際大会が中止になったことを受け、2019～2020 年 FVDG/DGE セミナーを締めくくる 4 日目に向けた代替プランを確認した。
- 2020 年 5 月に執行委員会によって承認された、2020～2021 年度の FVDG/DGE セミナーのグループリーダーを確認した。

- ライオンズ学習センター推奨コースの使用を中心としたレオライオン研修を開発し、2020～2021 年度に 308 複合地区でこのオプションを試験導入するという計画を承認した。
- 理事会方針書を改訂し、参加費用の負担を地区から参加者個人に変更した。
- 理事会方針書を改訂し、古いグローバル・アクション・チーム（GAT）GLT 職の削除が必要な部分は削除し、内容を現在のグローバル・アクション・チームの構造に合わせた。

長期計画委員会（2020 年 5 月会議の報告）

- 現バージョンの LCI フォーワードの費用便益分析の結果を受け取った。理事会が推定 2,330 万ドルでプログラムを承認したのに対し、2016 年から 2020 年の間に発生した実費は 1,570 万ドルと順調。
- さらに喜ばしいことに、この 1,570 万ドルのうち、815 万ドルのみが増分であり、これはセカンドセンチュリー・アンバサダーからの 225 万ドルの収入と、ライオン誌印刷版発行回数の削減による 460 万ドルの経費節減によって大部分が相殺されているとのこと。
- 2015 年度のグローバル会員増強チーム（GMT）およびグローバル指導力育成チーム（GLT）の予算と比較すると、現在のグローバル・アクション・チーム（GAT）の予算のほうが 20 万ドル以上低いことを確認。
- 次のバージョンの戦略プランにおける進捗状況を確認。その上で、プロジェクトチームの提案通り、国際協会と LCIF のグローバル重点分野に一貫性を持たせるアプローチと、国際協会と LCIF の両理事会、ボランティア体制、管理運営業務間のいっそう強力な連携の必要性についても支持する。加えて、委員会は、プロジェクトの予定を 2021 年 6 月まで延長するというプロジェクトチームからの提言に賛同する。
- 29 人の地区ガバナー（DG）から寄せられた新会員や新クラブ結成などの職責に対する所感についての定性調査の分析結果を確認した。
- 地区ガバナーの役割と責務を定義する上で役に立つトレンドを特定するため、調査対象をより多くの次期・現・元地区ガバナーに広げるようスタッフに要請した。
- 2020 年国際大会が中止され、チョイ国際会長が任期を継続することになったことを受け、委員会は「思いやりと多様性で結束する」という新しい会長メッセージを支持する。

マーケティング・コミュニケーション委員会

- 新型コロナウイルスに関連するマーケティングの対応と、「バーチャル・イベント・センター」のウェブページとパフォーマンスを確認した。

- 7月中旬に予定されている「リーダー・ダイジェスト」始動のステータスを確認した。
- ブランド・テンプレート、ソーシャルメディアのパフォーマンス、ウェブサイト制作、来年初旬に開始予定のPSA開発の進捗状況を確認した。
- ビデオ制作の期末報告を確認した。
- 2020年のブランド調査の初期結果を、ブランドの印象と競合分析を含めて確認した。
- プロトコルの改訂案を確認した。今後の会議で決議案の提出を検討する予定。
- コスト削減の一環として、国家元首、首相、知事、その他現地当局者に対する公式の表彰の品に国際平和ポスターの楯を採用する案について確認した。今後の会議で決議案の提出を検討する予定。
- キャンペーン100の延長を受けて、キャンペーン100のための会長賞およびリーダーシップ・アワードの受賞可能期間を延長するべく、理事会方針書第19章のアワード一覧表を改訂した。

会員増強委員会

- 会員増強補助金プログラムを変更し、大規模および特別イニシアチブ補助金を削除。これにより、申請者のプロセスが簡素化され、補助金へのアクセスが容易になる。
- クラブが1暦月内に30人以上の会員を追加した際にスタッフが従うべきプロセスを明確化した。
- 理事会方針書の第3章、10章、17章、22章の文言を改訂した。これらは、レオライオンおよび学生会員の種別の方針と特典を明確にするための改訂。

奉仕事業委員会

- 2019～2020年度奉仕アクティビティ報告の前年同期比データ報告を受けた。今年度は奉仕対象者が3億人近くに上った。
- ボランティア時間、集めた資金、寄付した資金に関する奉仕アクティビティ報告データの分析について報告を受けた。データの精度を上げる方法について、スタッフが2020年10月理事会で提案を行う。
- アドボカシー戦略の構築について最新報告を受け、2020～2021年度に実施されるアドボカシーイベントの計画について話し合った。
- ライオンズクラブ国際協会の奉仕プログラムおよびパートナーシップについて最新報告を受け、ライオンズ奉仕と部署の優先事項における新型コロナウイルスの影響について討議した。
- 「思いやりは大切なこと」奉仕アワードの開始に関わる諸事の詳細について討議した。

テクノロジー委員会

- 2020 年 5 月 22 日に発生し、結果的に MyLCI や各種レポートなど会員向けのプロダクトに大規模な支障をもたらしたシステム停止について討議した。委員会には、現在進行中の分析の結果が通知される。
- 第 4 四半期の収支予想を検討し、予算と比較してプラスの差があることを指摘。現在の新型コロナウイルスのパンデミックの状況と、最近のシステム停止が 2020～2021 年度予算に重大な影響を与える可能性があることを確認した。
- 今後 3～6 カ月に計画されているセキュリティおよびプライバシーの取り組みを承認。これには、処理活動の記録、データ保護研修、個人データのセキュリティ、データ侵害の通知手続きが含まれる。
- 今後のプロダクトの取り組みについて討議。新しいメンバーポータルは、6 月下旬にリリースされる予定で、メンバーの意識とコミュニケーションを向上させる。暫定的に「Connect」と名付けられた新しいコミュニケーションアプリケーションが、8 月上旬にリリースされる予定。対面会議に代わりバーチャル会議を行える機能を提供する。
- 「SAP Business ByDesign」財務システムと新しいライオンズ・オンラインショップの最近の立ち上げについて報告を受けた。
- ウェブサイトの「クラブに連絡する」フォームを経由してクラブ役員に迷惑メールが届いているという最近の問題に対処するためにスタッフが発表した計画など、Lionsclubs.org の改善策について議論した。
- 委員会がスタッフとの協力で、理事会方針書の新章として、テクノロジーに関連する事項を網羅する第 26 章「テクノロジー」を起草した。